

(12) 公開講義

- ・研修講座や教育研究において実施する主に外部講師による講義を公開します。
- ・研修講座の受講ではなく、講義の聴講として参加いただけます。研修講座の受講認定にはなりません。
- ・募集に関する詳細は、令和7年4月下旬にお知らせします。

教職教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 01	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。	7月9日(水)	9:40～11:10
	堀田 竜次		オンライン	小中高特 100
No. 02	一人一人が育ち、集団をよりよくなるための特別活動 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	文部科学省の教科調査官から特別活動の最新の動向を何うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生方の実践を共有し、協議を行うことで、自治の能力を育むために大切なことについて理解を深めます。	7月30日(水)	13:10～14:40
	和久井 伸彦		オンライン	小中高特 100

教科教育に関する公開講義

No. 03	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～ 日本大学 教授	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	6月5日(木)	12:45～14:15
	野内 頼一			
No. 04	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～ 青山学院大学 教授	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	6月20日(金)	12:45～14:15
	益川 弘如			
No. 05	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 国立教育政策研究所初等中等教育研究部 総括研究官	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	6月24日(火)	9:45～11:45
	白水 始			
No. 06	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～ 京都市総合教育センター指導室長	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	6月25日(水)	12:45～14:15
	東良 雅人			
No. 07	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 熊本大学 特任教授	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	7月9日(水)	9:45～11:45
	前田 康裕			
No. 08	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 福島大学 准教授	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	7月11日(金)	9:45～11:45
	鳴川 哲也			
No. 09	これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育 奈良教育大学 教授	茨城県近代美術館を会場にして実施します。美術を中心に、芸術教育や創造教育の意義や価値について学びます。公開講義後は、展覧会も自由にご鑑賞ください。	7月23日(水)	10:30～12:00
	竹内 晋平			
No. 10	主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン 文教大学 教授	生徒が探究的に学ぶ授業デザインについて理解を深め、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について学びます。	8月4日(月)	10:00～12:00
	藤森 裕治			
No. 11	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 大妻女子大学 教授	主体的・対話的で深い学びの視点から、国語科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	8月19日(火)	9:30～12:00
	樺山 敏郎			
No. 12	技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	技術・家庭科〔技術分野〕の現状と課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて理解を深め、授業力向上につなげます。	8月21日(木)	10:00～11:30
	渡邊 茂一			

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 13	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方		8月25日(月)	13:00～15:00
	学校法人桐蔭学園 理事長 溝上 慎一	学校教育におけるウェルビーイングの視点や、研究する上での留意点、ウェルビーイングが向上した具体的な姿などについてご講義いただきます。	オンライン	小中高特 50
No. 14	思考力・判断力・表現力を育成する算数科学習指導の在り方		9月11日(木)	9:45～11:45
	NPO法人エデュ・ネットワーク・プラン 代表理事 齊藤 一弥	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	小特 50
No. 15	思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方		9月16日(火)	9:45～11:45
	国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	高特 50
No. 16	国語科の授業づくりと評価の改善		9月19日(金)	9:30～12:00
	国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官 加藤 咲子	中学校国語科における、指導と評価の一体化について考えていきます。国語科で目指す資質・能力の育成に向けて、授業づくりや授業改善について学びます。	集合	中特 10
No. 17	思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方		9月19日(金)	9:45～11:45
	岩手大学 准教授 佐藤 寿仁	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	中特 50
No. 18	英語発信力向上を目指す授業づくり		10月8日(水)	10:00～11:30
	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 早川 優子	英語を使いながら習得する帰納的なプロセスを重視した、言語活動中心の授業づくりについて学びます。	オンライン	小中特 50
No. 19	ウェルビーイングを向上させる「個別最適な学び」と「協働的な学び」		10月20日(月)	10:00～12:00
	京都大学 准教授 石井 英真	今、求められる授業づくりや授業改善をするにあたり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実をどうとらえるべきか、実践的研究に取り組む上でのポイントなどをご講義いただきます。	オンライン	小中高特 50
No. 20	探究的な学びにおける地域との連携		1月30日(金)	10:00～11:30
	東京都市大学大学院 教授 佐藤 真久	探究的な学びにおける地域との連携のあり方について学び、理解を深めます。	オンライン	小中高特 50
No. 21	創造的な学びに着目した理科教育		2月5日(木)	14:00～15:30
	玉川大学教職大学院 教授 久保田 善彦	マルチメディア教材や生成AIといった新しいテクノロジーを活用して理科教育におけるさまざまな問題の解決や改善を考えていく講義です。	オンライン	中 50
No. 22	創造的な学びに着目した理科教育		2月12日(木)	13:30～15:30
	日本大学 教授 野内 頼一	新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するために、高校理科教員は何ができるのか。様々な事例を参考に、これからの理科教育の在り方を考えます。	オンライン	高 50
No. 23	創造的思考力を育むアート		2月12日(木)	13:30～15:30
	武蔵野美術大学 准教授 石川 卓磨	デザイン思考やアート思考など、これからの社会で求められるアートの力について、学校教育ではどのように育むことが大切か、学校と社会とのつながりを踏まえて考えます。	オンライン	小中高特 50
No. 24	豊かな情操を培う造形遊び		2月19日(木)	13:30～15:30
	鳴門教育大学 教授 山田 芳明	小学校図画工作科における「造形遊び」の意義や魅力、授業づくりの工夫などについて、事例を基に学びます。	オンライン	小中高特 50

情報教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 25	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用について		5月19日(月)	10:00 ～11:40
	茨城大学教育学部 教授	新しい時代における子供たちの学びのスタイルとは何か、その際に、1人1台端末環境におけるICTはどのような役割を担っていくのかについて学びます。新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現するための、1人1台端末の効果的な活用について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	毛利 靖			100
No. 26	学校における生成AIの活用		8月20日(水)	9:45 ～11:15
	札幌国際大学基礎教育部 准教授	令和6年12月、初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドラインが改訂され、学校現場においても生成AIの活用がさらに加速することが予想されます。本講義では、学校現場においての生成AI活用の基本的な考え方や、事例を交えながら生成AIの効果的な活用について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	安井 政樹			100
No. 27	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～		11月18日(火)	10:00 ～11:30
	一般社団法人メディア教育研究室 代表理事	GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末の整備が進められました。これからの学校教育活動において、デジタル・シティズンシップ教育をどのように進めていくべきかを、ミドルリーダーとしての視点から実践事例を交えながら学んでいきます。	オンライン	小中高特
	今度 珠美			100

教育相談に関する公開講義

- ・教育相談に関する公開講義は、全てオンデマンド動画配信となります。指定された期間内に動画を視聴してください。
- ・実施日は研修講座の実施日であり、講義動画を収録・編集した上で、後日配信いたします。

No. 28	教育相談の基礎		8月18日(月)以降に通知	
	茨城大学 名誉教授・特任教授	臨床心理学、グループアプローチが専門であり、カウンセリングについて独自の見地から提案を行っている講師の講義・演習を通して、話を聴く態度や信頼関係を築く関わり方について理解を深めましょう。	オンデマンド	小中高特
	正保 春彦			制限なし
No. 29	学びの保障に向けた支援の充実		9月3日(水)以降に通知	
	東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー	子どもたちのあるがままを肯定して応援しようをコンセプトに、児童生徒・保護者・教職員を対象とした東大先端研「LEARN」プロジェクトを展開している講師の講義・演習を通して、学びの保障に向けた支援について考えましょう。	オンデマンド	小中高特
	中邑 賢龍			制限なし
No. 30	思春期のこどもの心の危機と向き合う		10月15日(水)以降に通知	
	東京都立大学 准教授	令和6年度と同様、『学校における自殺予防教育プログラムGRIP』の編者でもあり、自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について学び、理解を深めましょう。	オンデマンド	小中高特
	勝又 陽太郎			制限なし

特別支援教育に関する公開講義

No. 31	学習指導要領と特別支援学校の授業づくり～主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント～		6月26日(木)	13:00～14:30
	茨城大学 教授	特別支援学校における各教科の授業づくりについて学びます。主体的・対話的で深い学びのための指導のポイントを茨城大学教授、新井英靖先生より具体的な事例を交えながらご講義いただき、各教科の本質と授業づくりについて理解を深めます。	オンライン	小中高特
	新井 英靖			100
No. 32	グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～		7月23日(水)	10:00～12:00
	特別支援教育ネット代表	発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断までには至っていない「グレーゾーン」の児童生徒がいます。グレーゾーンの児童生徒の二次障害を防ぐためには、どのような支援を行うとよいのかについて法務技官としての経験が豊富な小栗先生より学びます。	オンライン	小中高特
	小栗 正幸			100
No. 33	学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～		8月21日(木)	10:00～12:00
	江東区立豊洲北小学校 統括校長	自立活動の指導における第一人者である喜多先生から自立活動の基本的な考え方について学びます。児童生徒の困難さを改善・克服するために、実態把握や目標設定、流れ図から、指導内容にどのように繋がればよいか考えていきます。	オンライン	小中高特
	喜多 好一			100
No. 34	通常の学級における特別支援教育		9月11日(木)	10:00～12:00
	ノートルダム清心女子大学 准教授	通常の学級には、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍しており、特別支援教育の視点を取り入れることが求められています。インクルーシブ教育の研究の第一人者である青山先生の講義を通して、学級担任ができること、すべきことについて考えていきます。	オンライン	小中高特
	青山 新吾			100
No. 35	読み書き困難のある児童生徒への指導		11月12日(水)	10:00～12:00
	筑波大学 助教	全般的に知的発達に遅れがないのに読み書き困難がある「発達性ディスレクシア」について学びます。読み書き困難の背景や、児童生徒への具体的な指導方法について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	三孟 亜美			50

(13) 特別研修

ア 長期研修（内地留学）

a 目的

長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。

b 実施期間及び研究分野

3か月：令和7年9月25日（木）から令和7年12月24日（水）まで

6か月：令和7年9月25日（木）から令和8年3月24日（火）まで

研究分野	実施期間
○各教科に関する研究 国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業	3か月
○小学校における外国語活動に関する研究	3か月
○総合的な学習（探究）の時間に関する研究	3か月
○生徒指導に関する研究	3か月
○教育の情報化（ICTを活用した授業研究、プログラミング教育、ネットワークの教育利用、情報モラルの指導、校務の情報化、事例研究）に関する研究	3か月、6か月
○道徳に関する研究	3か月、6か月
○特別活動に関する研究	3か月、6か月
○教育課題（組織マネジメント、社会に開かれた教育課程、学校評価、カリキュラム・マネジメント、校内研修等）に関する研究	3か月、6か月
○学級（ホームルーム）経営に関する研究	3か月、6か月
○教育相談（人間関係づくり、個別対応・集団対応の在り方等）に関する研究	3か月
○特別支援教育（障害のあるこどもの教育相談、特別支援教育に係る調査研究及び教材開発等）に関する研究	3か月、6か月

イ スキルアップ研修

a 目的

指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は4月～9月の6か月間とし、通所研修は、計6回とする。

c 研修方法

研修は、校内研修を基本とし、教育研修センターへの通所研修を月1回実施する。

ウ 指導改善研修

a 目的

学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は原則として1年間、研修の開始時期は原則として4月とする。

c 研修方法

教育研修センターで実施する。ただし、研修の内容等によっては、所属校、所属校以外の学校及び学校以外の教育機関等においても実施する。